



# 地区内クラブ管理運営 アンケート結果報告 (2009年1月)

地区管理運営委員会  
委員長 麻生 哲  
(宇佐2001RC)

今年度のクラブ管理運営委員会では、10月に、地区内各クラブにアンケートを実施し、CLPの採用に関して、現状と方向を調査した。結果について、下記のとおり報告する。

## 集計

回答クラブ	CLP採用済み	09年度・10年度予定	検討中・時期未定	予定なし
大分県 (25RC)	12 (48%)	4 (16%)	5 (20%)	4 (16%)
熊本県 (34RC)	14 (41%)	10 (29%)	7 (21%)	3 (9%)
計 (59RC)	26 (44%)	14 (24%)	12 (21%)	7 (12%)

## 1、結果

回答59クラブ中44%の26クラブが既に採用済みであった。また、24%の14クラブが次期および次々期採用予定としている。検討中および時期未定も12クラブとなっており、予定なしは7クラブだけであった。

ただし、今回未回答の18クラブは、殆どが未採用と思われ、全体としては40%強が採用の予定がないというのが現状のようである。

## 2、内容について

CLPについて、採用して良かったこと、問題点、採用に関する疑問点を尋ねた。

- ① 良かったこととして、人材の有効活用、運営の継続性、会員の意識の向上、連携が取れる、活動が分りやすくなった、出席率向上、会員増強につながる、活性化、運営の全体が見える、親睦が図られる、等々があった。
- ② 逆に問題点として、大委員長と小委員長の役割不明確、職業奉仕が埋没、地区委員会との整合性に疑問、委員会の職務範囲で混乱、委員の固定化につながり将来に問題、クラブ管理運営委員長に過大な負担、四大奉仕が霞む、全体に理解不足等々があった。
- ③ さらに、疑問点として、細則変更の例示、予算について、四大奉仕の位置づけ、3年委員について等々があった。

## 3、今後の委員会の方向について

地区管理運営委員会としては、残りの約40%強のクラブに対し、CLPの意味について伝えていかねばならない。その中には、理解した上で不採用としたクラブもあろうが、検討もしないで放置しているクラブもあると思われる。それぞれに対して、違った角度から説明、説得をしていく必要がある。また、様々な問題点、疑問に対しても、できるだけ速やかに答えを用意して対応することが大切であると思われる。

以上

## ◎ 回答に協力いただいたクラブ

大分県 25 / 33・・・75%

第1分区 3 / 6、第2分区 6 / 6、第3分区 4 / 6、

第4分区 8 / 8、第5分区 4 / 7

熊本県 34 / 44・・・77%

第1分区 4 / 5、第2分区 6 / 8、第3分区 5 / 8、第4分区 5 / 6、

第5分区 5 / 7、第6分区 4 / 5、第7分区 5 / 5